

江戸時代から伝わる伝統の風習

## 伝統のほうき踊りを奉納

井田観音で8月9日、納涼盆踊り大会を兼ねて井田観音祭りが行われ、ほうき踊りなどが奉納されました。

ほうき踊りは、水田の害虫をほうきで掃き出す作業をまねた踊りで、江戸時代から伝わる地域の伝統風習で、平成27年に町の無形民族文化財に指定されています。

浴衣姿の住民や子どもたちは、やぐらを囲み、歌声に合わせて、ほうきを持ち上げたり、掃くしぐさを繰り返すなど、夜遅くまで踊りの輪が広がっていました。

Town topics  
8 / 9



老若男女がやぐらを取り囲み踊りを奉納

鮮魚や地元産野菜、フリマなどで賑わう

## 「紀の宝みなと市」お盆まつりを開催

新鮮な魚介類や地元産野菜、惣菜、手作りお菓子、フリマなどで人気の「紀の宝みなと市」が8月10日、「お盆まつり」と題して鵜殿港で開催され、約400人が来場しました。

みなと市では、テント市や軽トラ市、多数のフリーマーケットに加え、オープニングイベントとして、紀宝楽による力強い太鼓演奏が披露されました。

また、今回の目玉イベントとしてアマゴのつかみ取りとガラポン抽選会を実施。アマゴのつかみ取りでは、参加者たちは、びしょぬれになりながらも楽しそうな笑顔で、アマゴを捕まえてました。

Town topics  
8 / 10



01. 大勢の来場者で賑わうみなと市。02. ガラポン抽選会。



熊野川クリーンキャンペーン

## 熊野川清掃に77人が参加

町と国土交通省紀南河川国道事務所は7月28日、熊野川周辺で「熊野川クリーンキャンペーン」を実施し、ボランティアや矢刈中学校の生徒たち77人が参加しました。

この活動は、「河川愛護月間」の7月にあわせて、流域の良好な河川環境の保全、再生への取り組みを目的として毎年行っています。

炎天下のなか参加者たちは、ごみ袋を手に河川敷のごみを拾い、約1時間の活動で軽トラック1台分のごみが集められ、美しい熊野川の保全に努めました。

Town topics  
7 / 28



ごみ拾いをする参加者たち

差別につながる身元調査をなくすために

## 人権学習会を開催

町は8月7日、まなびの郷で、「差別につながる身元調査をなくすために」をテーマに人権学習会を開催しました。

これは人権に対し正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会を実現するために反差別・人権研究所みえより講師を招き、今年度はじめて開催したものです。

学習会には、一般の参加者のほか、福祉関係者、学校関係者など60名が参加し、講師による説明のあと、グループに分かれ、差別をなくすために自分たちができることなどについてなど、熱心に議論が繰り広げられていました。

Town topics  
8 / 7



差別をなくすために熱心に議論する参加者たち

中能登町の一大イベント「織姫夏ものがたり」に参加

## 中能登町と物産・文化交流をはかる

町は7月27日、姉妹町提携の協定を締結している石川県中能登町と交流を図るため、中能登町のお祭り「織姫夏ものがたり」に参加しました。

模擬店広場には「紀宝町」のブースが設けられ、ハウスみかんやみかんジュース、マイヤーレモンの加工品など町の特産品を販売しました。今年で8回目の参加となりますが、お客さんのなかには毎年みかんを買いに来てくれる方も多く、ハウスみかんはすぐに完売してしまうほど好評で、特産品を通じた交流が進んでいる様子が伺えました。

また、紀宝ふるさと音頭と鵜殿ばやし保存会のみなさんが、地域の民謡舞踊をステージで披露し、観客たちを魅了していました。

Town topics  
7 / 27



01. ハウスみかんの販売コーナーには長蛇の列ができました。02. 2団体合同で踊った熊野川小唄。



第13回紀宝町花火大会を開催

## 約700発の花火が夜空を彩る

紀宝町花火大会実行委員会は8月16日、鵜殿のふれあい会館裏の鵜殿港で第13回紀宝町花火大会を開催しました。

町の花火大会は、間近で見られるため、迫力ある花火を楽しめるのが特徴です。今年はスターメインやメッセージ花火など合わせて約700発の花火が打ち上げられました。

訪れた約2000人の観客たちは、歓声をあげて、夜空に咲いた大輪の華に見とれていました。

Town topics  
8 / 16



夜空に打ち上げられた大迫力の花火